



この暑さも、明日くらいまでか…。台風が接近しています。連休中は、気をつけてお過ごしください。

あまりにも暑いので、三回、「あつい」と書きました。いよいよ秋かと、先日、涼風を感じながら満月を観ていたのに、暑さがこれほど戻ってくるとは…。台風12号の動きやフェーン現象の影響で、酷暑と言える残暑が続きます。熱中症アラートが連日発表されていますので学校では、屋外での遊びや運動を控えるか、中止する措置を取っています。

あつい、アツい、暑い！



野田小学校だより 第14号
南風の丘から
校長 雷野正三
進んで学び 思いやりのある たくましい子を育てる

雲仙普賢岳噴火災害を語りつぐ日 9・15

平成3年9月15日、18時54分に発生した大火砕流により、付近の民家等とともに、大野木場小学校は焼失してしまいました。31年前のことです。教育施設の焼失は、衝撃的なニュースでした。

昨日は、各学年で朝の時間に、雲仙普賢岳噴火災害について、当時のニュース映像などを使って担任が講話をしています。ここ加津佐町は、噴火による直接の被害を受けてはいませんが、降灰や道路と鉄道の寸断などで、少なからず影響があったのではないのでしょうか。

噴火による被害は、長期にわたり甚大でした。しかし、全国から寄せられた物心両面からの支援と、復興へ向けた人々の根気強い努力があって、現在に至っていることを忘れてはならないでしょう。

9月15日以前の画像。大野木場小学校近くまで迫った火砕流。避難誘導しているのは、当時の教頭先生。↓



朝の、さくらの葉そうじで

色づいた桜の葉が、毎日、たくさん落ちます。毎朝、掃き集めています。

朝の挨拶で、子どもたちを迎えるときに、鳥小屋近くにたくさん落ちた桜の葉を、朝日が痛いほどまぶしく、暑い中に集めていると…。

「手伝いましょうか？」と、声をかけてくる子。それは5年生の子たち。ちょっとした手伝い(ちょボラ)なんですけど、とても嬉しいです。



美しい野田の砂浜を守りたい

左下の写真の、O印の中に写っている物は何だと思えますか。栄養ドリンクのガラス瓶が割られたものです。地域の方が野田浜で見つけられて、学校にもご連絡くださいました。数度、このような瓶を割ったあとを見つけたら、片付けられたそうです。



野田浜は地域の象徴のような場所です。砂の造形やPTA活動の磯遊でも利用します。みんなでも美しく守りたいものです。